

平成 29 年 4 月 3 日

横浜市長 林 文子様

認定 NPO 法人ホタルのふるさと瀬上沢基金  
横浜市港南区港南台 9-30-31  
理事長 角田東一  
e-mail: segamikikin@gmail.com

### “貴重な緑地を潰す上郷開発”について

横浜市が進めている栄区上郷開発計画で、横浜市の貴重な緑地が失われようとしています。上郷開発で新たに発生するエネルギー消費は 3 千万 kwh/年で毎日 50m プール 1 杯分の水を沸騰させる熱量に相当します。発生する CO2 は年間 1 万 3 千トンに達します。横浜市の平均気温は 100 年間で 2.8℃ 上昇しています、これは地方都市の約 2 倍、地球平均の 2.8 倍もの数値です。

緑地は太陽エネルギーを直接利用して、CO2 吸収、酸素発生、地表面の温度安定、美しい景観、安らぎ、水源の涵養、食物供給、生物多様性の維持など、私たちに必要不可欠な生態系サービスをひたすら供給し続けています。  
しかし地球は今、生態系サービス供給の限界を 40% も超えていると言われており、もう必要性の無い開発で緑地を削る余地はありません。

国交省は 2014 年以降宅地を増やさない方針を示しています。横浜市も 2019 年をピークに人口減少に突入すると予測されており、市街地の縮退に着手する事を掲げています。栄区は既に人口が減少しており、首都圏空き家予備軍ワースト 2 位 (エコノミスト 2017/4/4) と報道されています。栄区の上郷開発は必要性の無い宅地開発であるばかりか害を及ぼす開発ではないでしょうか。

この様な状況を考慮すれば、栄区の上郷開発による緑地喪失と宅地拡大は不適切な計画と考えますが、市長の見解を伺います。

#### ホタルのふるさと瀬上沢基金は

市民と協力して、長い間守られてきた瀬上沢緑地の取得・借用・保全を通じて地球環境を守り、子供や孫たちの世代に豊かな自然を残す為に活動しています。

H29.3.18 現在 会員：226 名 寄付：14,448 名 973 万円  
寄付金は瀬上沢緑地の取得・借用。保全のために積み立てられています。